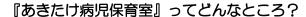
あきたけ病児保育室だより



「お子さんが急に熱を出した。。。」、「風邪をひいてしまい保育園や学校に行けない」

「仕事を休めないし、預ける人もいない。。。」そんな時、あきたけ病児保育室は、

あきたけ医院の2階で、病中、病後のお子さんをお預かりする保育室です。お気軽に相談ください。

◎保育時間: 月~金 8:30~17:30 ± 8:30~13:00

*対象年齢:概ね生後3ヵ月から小学6年生まで

今回も予防接種の事についてお伝えできればと、思っています。「ヒブ」、「B型肝炎」と同じタイミングで接種することが多い、「肺炎球菌」について書かせてもらいます。

〇肺炎球菌〇

肺炎球菌は、子どもの 細菌性 髄 膜炎 や 菌 血症 という感染症の原因です。その他にも肺炎、気管支炎、中耳炎などを起こします。病原性が強く細菌性髄膜炎を発症すると、重症化し、てんかんや、精神発達遅延などの後遺症を残すことがあります。「肺炎球菌ワクチン」は、これらの感染症にかかるのを防ぎます。生後2ヶ月から接種できますので、「ヒブ」、「B型肝炎」と一緒に早めに接種をしましょう。

<副反応は、ありますか?>

接種部分が赤く腫れる、発熱などが、起こることもあります。重症化はごく稀です。

○疑問コーナー○

1. 「接種するかどうか、メリット、デメリットを考え、

どう判断したらいいですか?」

A: 副反応のことだけでなく、かかった時のことを考えて!

予防接種のメリットには、「かからない。」「重症化しない。」「深刻な後遺症を起こす感染から守ることが出来る。」「本人がかからないことで、周りの大切な人を感染症から守ることが出る。」などがあります。ですから、「副反応が起きる。」というデメリットだけでなく、「接種しないで感染症にかかってしまったら……」という事も考えていくことが大切です。もしもお悩みになる場合は、かかりつけ医に相談するのが一番です。

2. 「病院によって、同時接種の考え方、順番が異なりますが、何が正しいですか?」 A:いろいろな選択肢と思ってください。

「必要なワクチンを接種して感染症を予防する。」ことが目標です。そのために、いろいろな考えがあっても「正しい」のです。ですから、病院によっても違いがあっても不安になることはありません。また兄弟がいる家庭では、新しいワクチンが出てきたり、制度が変わったり事情が変わることもあるでしょう。ただ、大切にしてもらいたいことは、ワクチンを受けられる年齢になったら忘れず、早めに受けることが大切です。

あきたけ病児保育室

住所:門司区東門司2-4-18

TEL: 093-321-0541 または 090-6491-3697 病児保育室担当: 秋元 進之介